

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年12月27日 (2018.12.27)

【公表番号】特表2016-505670(P2016-505670A)

【公表日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-012

【出願番号】特願2015-546881(P2015-546881)

【国際特許分類】

C 0 9 K 19/42 (2006.01)

C 0 9 K 19/30 (2006.01)

C 0 9 K 19/12 (2006.01)

C 0 9 K 19/20 (2006.01)

C 0 9 K 19/16 (2006.01)

C 0 9 K 19/18 (2006.01)

C 0 9 K 19/14 (2006.01)

C 0 9 K 19/34 (2006.01)

C 0 9 K 19/32 (2006.01)

C 0 9 K 19/60 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

G 0 2 F 1/137 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 19/42

C 0 9 K 19/30

C 0 9 K 19/12

C 0 9 K 19/20

C 0 9 K 19/16

C 0 9 K 19/18

C 0 9 K 19/14

C 0 9 K 19/34

C 0 9 K 19/32

C 0 9 K 19/60 A

C 0 9 K 19/60 C

C 0 9 K 19/60 Z

G 0 2 F 1/13 5 0 0

G 0 2 F 1/137

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年11月8日 (2018.11.8)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

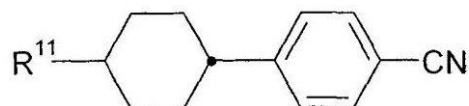
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 ( I - 1 )

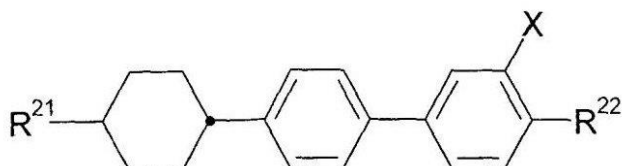
## 【化 1】



式(I-1)

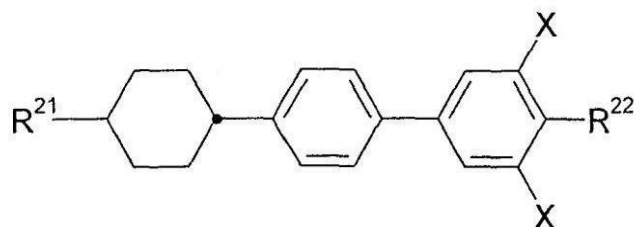
で表される少なくとも 1 種の化合物、  
式 ( I I - 1 - 1 ) および / または ( I I - 1 - 2 ) :

## 【化 2】



式(II-1-1)

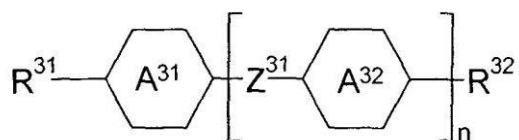
## 【化 3】



式(II-1-2)

で表される少なくとも 1 種の化合物、  
式 ( I I I )

## 【化 4】



式(III)、

で表される少なくとも 1 種の化合物、および  
少なくとも 3 種の二色性色素を含み、式中、以下のもの：

R<sup>11</sup> は H、F、CN、1 ~ 10 個の C 原子を有するアルキルまたはアルコキシ基、ここで前記基における 1 または 2 以上の H 原子は F、Cl または CN によって置き換えられていてもよく、

R<sup>21</sup>、R<sup>31</sup>、R<sup>32</sup> は、各出現において、同一または異なって、H、F、Cl、CN、NCS、R<sup>1</sup>-O-CO-、R<sup>1</sup>-CO-O-、1 ~ 10 個の C 原子を有する、アルキル、アルコキシもしくはチオアルコキシ基、または 2 ~ 10 個の C 原子を有する、アル

ケニル、アルケニルオキシもしくはチオアルケニルオキシ基であり、ここで前記基における 1 または 2 以上の H 原子は、F、Cl または CN で置き換えられていてもよく、および前記基における 1 または 2 以上の  $\text{CH}_2$  基は、O、S、 $-\text{O}-\text{CO}-$  または  $-\text{CO}-\text{O}-$  で置き換えられていてもよく、

$\text{R}^1$  は、各出現において、同一または異なって、1 ~ 10 個の C 原子を有するアルキル基であり、ここで 1 または 2 以上の H 原子は、F または Cl で置き換えられていてもよく、および 1 または 2 以上の  $\text{CH}_2$  基は、O または S で置き換えられていてもよく、

$\text{R}^{2,2}$  は、F であり、

$\text{Z}^{3,1}$  は、各出現において、同一または異なって、 $-\text{CO}-\text{O}-$ 、 $-\text{O}-\text{CO}-$ 、 $-\text{CF}_2-\text{CF}_2-$ 、 $-\text{CF}_2-\text{O}-$ 、 $-\text{O}-\text{CF}_2-$ 、 $-\text{CH}_2-\text{CH}_2-$ 、 $-\text{CH}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CF}=\text{CF}-$ 、 $-\text{CF}=\text{CH}-$ 、 $-\text{CH}=\text{CF}-$ 、 $-\text{C}(\text{C})-$ 、 $-\text{OCH}_2-$ 、 $-\text{CH}_2\text{O}-$  および単結合から選択され、および

$\text{A}^{3,1}$  および  $\text{A}^{3,2}$  は、各出現において、同一または異なって、

[illegible]

および

X は、各出現において、同一または異なって、F、C 1、C N または 1 ~ 1 0 個の C 原

子を有するアルキル、アルコキシまたはアルキルチオ基から選択され、ここで前記基における 1 または 2 以上の H 原子は、F または Cl で置き換えられていてもよく、および前記基における 1 または 2 以上の  $\text{CH}_2$  基は、O または S で置き換えられていてもよく、および

n は 3、4 または 5 である、

が可変の基および添え字に適用され；および

式 (II - 1 - 1) および / または (II - 1 - 2) で表される化合物が少なくとも 2 個のフッ素置換基をもち、

透明点が 90 より高い、窓の構成要素のための液晶媒体。

【請求項 2】

10 ~ 70 重量 % の式 (I - 1) で表される化合物を含むことを特徴とする、請求項 1 に記載の液晶媒体。

【請求項 3】

5 ~ 60 重量 % の式 (II - 1 - 1) および / または (II - 1 - 2) で表される化合物を含むことを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の液晶媒体。

【請求項 4】

式 (III) で表される化合物が少なくとも 6 重量 % の割合で存在することを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 5】

15 ~ 45 重量 % の式 (III) で表される化合物を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 6】

式 (I - 1) で表される化合物と式 (II - 1 - 1) および / または (II - 1 - 2) で表される化合物との割合の比が、6 : 1 ~ 1 : 5 であることを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 7】

誘電異方性が 3 よりも大きいことを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 8】

式 (III) で表される化合物における添え字 n が 3 に等しいことを特徴とする、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 9】

3 種または 4 種以上の二色性色素を含み、そのうちの少なくとも 1 種が青色光を吸収し、そのうちの少なくとも 1 種は緑 ~ 黄色光を吸収し、およびそのうちの少なくとも 1 種が赤色光を吸収することを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 10】

二色性色素が 0.4 より大きい二色性比 R を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 11】

二色性色素が蛍光色素であることを特徴とする、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 12】

二色性色素が、アゾ化合物、アントラキノン類、メチン化合物、アゾメチン化合物、メロシアン化合物、ナフトキノン類、テトラジン類、ペリレン類、テリレン類、クアテリレン類、高リレン類 (higher rylenes) およびピロメテン類から選択されることを特徴とする、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の液晶媒体。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の液晶媒体の製造方法であって、まず式 (I - 1) および (II - 1 - 1) および / または (II - 1 - 2) および (III) で表される化合物および任意にさらなる成分を、二色性色素なしで混合し、その後、二色性色素を添

加し、溶解することを特徴する、前記方法。

【請求項 1 4】

窓の構成要素における請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の液晶媒体の使用。

【請求項 1 5】

請求項 1 ~ 1 2 のいずれか一項に記載の液晶媒体をスイッチング層中に含有する、電氣的にスイッチング可能な窓の構成要素。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 0 8】

本発明の好ましい態様によれば、ゲスト - ホスト型の LC デバイスは窓または同様の光透過開口の構成要素である。窓または開口は、好ましくは構造物中に位置する。しかしながら、それはまた、任意に望ましい他の閉じられた空間、例えば容器または乗り物内、の壁に設置することもできる。